

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-117484

(43) 公開日 平成8年(1996)5月14日

(51) IntCl.<sup>8</sup>D 0 6 F 39/12  
25/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 7504-3B

A 7504-3B

審査請求 有 請求項の数 2 F D (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平7-287666

(22) 出願日 平成7年(1995)9月21日

(31) 優先権主張番号 08/324, 334

(32) 優先日 1994年10月17日

(33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 595146677

メイタグ コーポレーション

MAYTAG CORPORATION

アメリカ合衆国 アイオワ州 50208, ウ

エスト フォース ストリート ノース

ニュートン, 403 # 403 WEST 4

TH STREET NORTH NEW

TON, IOWA 50208 U. S. A

(72) 発明者 ジェイ. クリストファー ミレット

アメリカ合衆国 アイオワ州 50208, イ

ースト セブンティーンズ ストリート

ノース ニュートン, 829

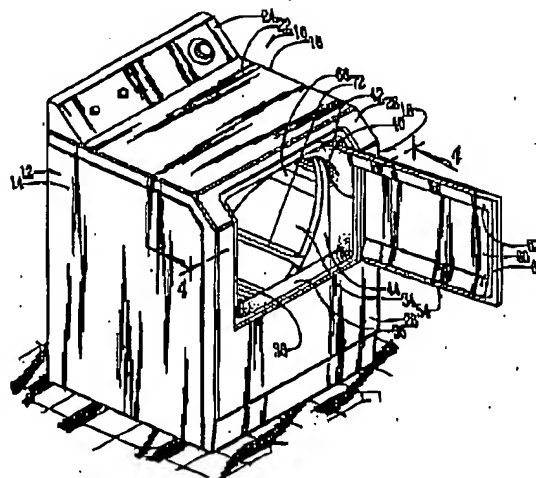
(74) 代理人 弁理士 飯田 伸行

(54) 【発明の名称】 アクセスの容易な洗濯機器

(57) 【要約】

【課題】 アクセスの容易な洗濯機器を提供すること。

【解決手段】 内部に回転自在の水平ドラム (66) を備えたキャビネット (12) を有するアクセスの容易な洗濯機器 (10)。キャビネット (12) は、該キャビネットの前面 (28) に近接した垂直平面と、キャビネットの前面 (28) から後方に離隔した垂直平面との間に延長したアクセス開口 (34) を有する。垂直部分 (56) と後方傾斜部分 (58) を有するドア (54) が、アクセス開口 (34) に対して開閉自在に取り付けられている。



(2)

特開平8-117484

1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 外部前面及び外部頂面を固定する前壁及び頂壁を有し、内部にキャビネット画室を固定するキャビネットと、

該キャビネット画室内に水平軸線の周りに回転自在に取り付けられており、洗濯物を入れるための衣類容器を固定する円筒状の壁を有し、軸方向の一端に、該衣類容器に連通する開放されたドラムアクセス開口を有する円筒状ドラムと、

キャビネットドアとから成り、

前記キャビネットは、該キャビネット及び前記ドラムアクセス開口を通して前記衣類容器内へ直接連通するように該ドラムアクセス開口に近接して設けられたキャビネットアクセス開口を有し、該キャビネットアクセス開口は、少くとも一部分はキャビネットの前記前壁に、他の少くとも一部分はキャビネットの前記頂壁に形成されており、該キャビネットアクセス開口の周縁は、互いに離隔した第1垂直平面と第2垂直平面の間に延長しており、前記キャビネットドアは、衣類容器内へのアクセスを可能にする開放位置と、前記キャビネットアクセス開口を閉鎖する閉鎖位置との間で開閉自在であることを特徴とする洗濯機器。

【請求項2】 キャビネット画室を固定する前壁、後壁、両側壁及び頂壁を有するキャビネットと、

該キャビネット画室内に水平軸線の周りに回転自在に取り付けられており、洗濯物を入れるためのドラム画室を固定する円筒状の壁を有し、軸方向の一端に、該ドラム画室に連通する開放されたドラムアクセス開口を有し、軸方向の他端に閉鎖壁を有する円筒状ドラムと、

キャビネットドアとから成り、

前記キャビネットは、該キャビネット及び前記ドラムアクセス開口を通して前記ドラム画室内へ直接連通するように該ドラムアクセス開口に近接して形成された、前向き開放部分と上向き開放部分を有するキャビネットアクセス開口を有しており、前記キャビネットドアは、ドラム画室内へのアクセスを可能にする開放位置と、前記キャビネットアクセス開口を閉鎖する閉鎖位置との間で開閉自在であることを特徴とする洗濯機器。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、アクセスの容易な洗濯機器に関する。

【0002】

【従来の技術】 通常の正面装入型（洗濯物を正面から装入する型式の）洗濯機器は、洗濯又は乾燥のために衣類を出し入れするためにキャビネットの正面即ち前部から内部回転ドラム又はタンブラーにアクセスできるようになされている。そのようなアクセスを可能にするために、一般に、洗濯機器キャビネットの前壁に開口が設けられている。しかしながら、従来のキャビネットの前壁

2

に設けられている開口の大きさ及び位置は、衣類容器即ち内部ドラムへの衣類の出し入れを阻害するものであった。又、ドラムの内部への視野が阻害される構造であるため、ドラム内を覗き込むには使用者は前かがみにならなければならなかった。更に、従来の洗濯機器では、使用者のドラム内への手の届く範囲が制限されていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従って、本発明の目的は、アクセスの容易な洗濯機器を提供することである。

10 本発明の他の目的は、ドラム内への視野が改善された洗濯機器を提供することである。本発明の更に他の目的は、キャビネットの頂壁と前壁の両方に跨がって形成された開口を通してドラム内へのアクセスを可能にされた洗濯機器を提供することである。

【0004】 本発明の他の目的は、洗濯物乾燥機として使用される場合に空気出口ダクト及び糸くずフィルタの配置場所に融通性を与える、アクセスの容易な洗濯機器を提供することである。本発明の更に他の目的は、追加の特徴として非回転正面区域のスペースを大きくした、アクセスの容易な洗濯機器を提供することである。本発明の他の目的は、衣類の回転を可能にするためのスペースを含む前壁を備えた改良型洗濯機器を提供することである。

【0005】 本発明の他の目的は、アクセスの容易でない従来の洗濯機器において可能とされる容量と同様の容量を保持する改良型洗濯機器を提供することである。本発明の他の目的は、衣類を回転ドラムの方に向けて偏向させるようにした前壁を有する改良型洗濯機器を提供することである。

20 30 40 50 【0006】 本発明の他の目的は、回転ドラムの後部へのアクセスを容易にした改良型洗濯機器を提供することである。本発明の他の目的は、衣類を回転ドラムの方に向けて偏向させるようにした前壁を有する改良型洗濯機器を提供することである。

【0007】 本発明の他の目的は、使用者は衣類容器即ち内部ドラム内へ上腕までしか入れることができない従来の洗濯機器とは異なり、大きく曲げる必要なしに腕と肩全体をドラム内へ押入ることができるようにしたアクセスの容易な洗濯機器を提供することである。本発明の他の目的は、アクセス開口を通してのドラム内への衣類の装入及び取り出しを容易にしたアクセスの容易な洗濯機器を提供することである。本発明の他の目的は、製造コストが安く、耐久性があり、作動効率の高い、アクセスの容易な洗濯機器を提供することである。

【0008】

【課題を解決するための手段】 本発明は、上記課題を解決するために、外部前面及び外部頂面を固定する前壁及び頂壁を有し、内部にキャビネット画室を固定するキャビネットと、該キャビネット画室内に水平軸線の周りに回転自在に取り付けられており、洗濯物を入れるための

(9)

特開平8-117484

3

衣類容器を固定する円筒状の壁を有し、軸方向の一端に、該衣類容器に連通する開放されたドラムアクセス開口を有する円筒状ドラムと、キャビネットドアとから成り、前記キャビネットは、該キャビネット及び前記ドラムアクセス開口を通して前記衣類容器内へ直接連通するように該ドラムアクセス開口に近接して設けられたキャビネットアクセス開口を有し、該キャビネットアクセス開口は、少くとも一部分はキャビネットの前記前壁に、他の少くとも一部分はキャビネットの前記頂壁に形成されており、該キャビネットアクセス開口の周縁は、互いに所定距離だけ離隔した第1垂直平面と第2垂直平面の間に延長しており、前記キャビネットドアは、衣類容器内へのアクセスを可能にする開放位置と、前記キャビネットアクセス開口を閉鎖する閉鎖位置との間で開閉自在に操作されていることを特徴とする洗濯機器を提供する。

【0009】

【発明の実施の形態】添付図、特に図1及び2を参照すると、洗濯機器10は、側壁14、16、前壁18、後壁20及び頂壁22を有する外側キャビネット12を備えている。頂壁22の後部には、上向きに突出した側傾斜表面24が設けられている。頂壁22の前縁には、傾斜表面26が設けられている。図1及び2に示された実施形態では、キャビネット12の前壁18と頂壁22とは一体構造のものとして示されているが、壁の構造は本発明から逸脱することなくいろいろに変更することができる。例えば、図6(A)、(B)及び(C)には、いろいろな異なる壁構造が示されている。図6(A)では、頂壁22Aは、傾斜表面26Aと一体に形成されており、傾斜表面26Aと前壁18Aの間に単一の縫目110が設けられている。図6(B)では、頂壁22Bと傾斜表面26Bの間及び傾斜表面26Bと前壁18Bの間にそれぞれ縫目112、114が設けられている。図6(C)では、頂壁22Cの前縁と傾斜表面26Cの上縁との間に単一の縫目116が設けられている。傾斜表面26Cと前壁18Cとは、一体に形成されている。

【0010】図4及び5を参照すると、垂直前面パネル28から成る前壁18が示されている。キャビネット開口34は、水平下縁36と、垂直側縁38、40(図2)と、水平上縁42を有している。キャビネット開口34の下縁36から下方内向きに傾斜した内部傾斜表面32が延長している。前壁18は、又、内方へ水平に延長した多少とも円筒形のスカート44を有しており、スカート44の内端は、ドラム密封部材又はガスケット47を支持する支持部材46に接続している。

【0011】キャビネット12は、その内部にキャビネット画室48を画定する。キャビネット画室48内に、水平軸線68の周りに回転自在に内部ドラム66が取り付けられている。ドラム66は、半径方向内方に突出する複数の櫓又はブレード72備えたほぼ円筒状の壁70

4

から成っており、前部にドラムアクセス開口74(ドラム内へアクセスするための開口)を有し、軸方向内端(後部)に閉鎖後壁76(図4)を有している。キャビネット開口34は、ドラムアクセス開口74を通してドラム内へアクセスするための開口を構成する。

【0012】本発明は特定のタイプの洗濯機器に限定されるものではないが、図示の洗濯機器は乾燥機であり、従って、衣類を乾燥させるために空気を加熱器(図示せず)を通してキャビネット画室48内へ吸入し、内部ドラム66内に導入しドラムを通して排出することができるよう内部傾斜表面32に空気出口ダクト106及び空気排出ダクト(図示せず)に通じる空気出口開口104が形成されている。空気出口開口104の配置位置は、本発明から逸脱することなくいろいろに変更することができる。図には示されていないが、空気出口ダクト106の下流にブロア及び空気排出ダクトが配置されている。

【0013】キャビネット開口34は、2つの垂直平面50と52(図5)の間に延長しており、開口の上縁42は前方の垂直平面50に近接している。それによって、使用者は、機器10の上方からキャビネット開口34の最上部を通して下向きに内部ドラム66内を覗くことができる。又、使用者は、キャビネット開口34の最上部を通して腕及び肩を内部ドラム66内に挿入することができるほど十分に内部ドラム66内に肉体的なアクセスをする(身体の一部を入れる)ことができる。

【0014】図では、キャビネット開口34のドア54は、キャビネット開口34の右側でキャビネット12に装着されたものとして示されているが、もちろん、左側に取り付けてもよく、下側に取り付けてもよい。ドア54は、キャビネット開口34の内周縁に嵌合するように寸法及び形状を定められた、垂直二重パネル(垂直部分)56と、頂部の後方に傾斜した二重パネル(後方傾斜部分)58(図5参照)から成る。ドア54の垂直二重パネル56の内側面に内側パネル60が付設されており、内側パネル60は、この実施形態では、上方傾斜表面62と下方傾斜表面64を有している。これらの傾斜表面62、64は、それらにぶつかった衣類を内部ドラム66に向けて内方へ偏向させるためのものである。

【0015】使用において、キャビネットに設けられた本発明によるアクセス開口34は、使用者がドラムの内部を覗くためにドラム内にアクセスすること、並びに、衣類を出し入れするためにドラム内に肉体的アクセスすること(身体の一部を入れること)を可能にする。即ち、本発明のアクセス開口34は、正面と上方の両方からアクセスできるので、使用者は、上方から覗き覗くことができ、衣類を出し入れするのにそれほどかがむ(腰を曲げる)必要なしに腕と肩をドラム66内に挿入することができる。更に、ドラム内へ照明の灯りをより多く投射することができるので、ドラム内部への目視による

(4)

特開平8-117484

5

アクセスを良好かつ容易にする。

【0016】空気出口開口104は、傾斜表面32に配置することができる。前壁18の前面パネル28から内部ドラム66の前端にまで延長する非回転前部区域の厚さが厚いので、空気出口開口104の配置に十分な融通性（余裕）を与える。前壁18（前面パネル28から内部ドラム66の前端までの前部区域）の厚さが厚いことは、又、ドラム66内の衣類がドラムアクセス開口74から回転してはみ出し、ドア54の内側表面60、62、64並びに前壁の内部傾斜表面32にぶつかるためのスペースを与えるので、傾斜表面62、64及び32は、それらにぶつかった衣類を内部ドラム66に向けて内方へ偏向させ、ドラム内でブレード72によって再循環させ、回転させる。又、内部傾斜表面32は、衣類によって空気出口開口104が塞がれないように衣類を空気出口開口104から離れる方向に駆返す働きをする。

【0017】本発明のもう1つの利点は、正面からドラム66の後壁76（図4）及びキャビネットの後部にある制御盤24への実効リーチ（後壁76及び制御盤24に手を届かせるのに手を伸ばさなければならない距離）が短いことである。この実効リーチの短縮は、キャビネット開口34の上縁42を前壁18の前面パネル28の上縁より内方へ引込めたことによって達成された。

【0018】図7及び8は、本発明の別の実施形態の洗濯機器78を示す。図1～6の洗濯機器10のものと同様の部品は、同じ番号で示されている。図7に示された構造の主要な変更は、傾斜表面26をなくして、頂壁82と前壁80とを直接直角に結合したことである。ドア開口86は、ほぼU字形の垂直下方部分87と、ほぼU字形の水平上方部分89を有し、図5に示された平面50、52と同様の2つの互いに離隔した垂直平面内にそれぞれ位置する底縁88及び頂縁90と、垂直両側縁92、92と、水平両側縁94、94によって画定されている。

【0019】ドア開口86を開閉するドア84は、ドア開口86内に嵌合し、それを閉鎖するように寸法及び形状を定められた垂直下方部分96と水平上方部分98を有する。ドア84の内側の垂直下方部分96と水平上方部分98の間に傾斜ガセット100が嵌め込まれている。

【0020】図7及び8の構造においては、キャビネットの前壁と頂壁は一体構造のものとして示されているが、図9に示されるように、頂壁82と側壁14、16との間だけでなく、頂壁82と前壁80の上縁の間にも継目102を設けてもよい。

【0021】更に、図10に変型例として示されるように（ドアは省略されている）、頂壁22を側壁14、16の前方にまで延長させず、前壁18が、ドア開口86の下方部分87と、上方部分89の両方を画定する構造としてもよい。

6

【0022】以上、本発明を実施例に関連して説明したが、本発明は、ここに例示した実施例の構造及び形態に限定されるものではなく、本発明の精神及び範囲から逸脱することなく、いろいろな実施形態が可能であり、いろいろな変更及び改変を加えることができることを理解されたい。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、本発明の洗濯機器の透視図である。

【図2】図2は、図1と同様な拡大透視図であるが、洗濯機器の正面ドアが開かれた状態にあるところを示す。

【図3】図3は、図1の洗濯機器の側面図である。

【図4】図4は、図2の線4-4に沿って見た洗濯機器の正面図である。

【図5】図5は、図1の線5-5に沿って見た洗濯機器の部分断面図である。

【図6】図6（A）は、図4の線6-6に沿って見た断面図であるが、壁構造の変型例を示す。図6（B）は、図6（A）と同様な図であるが、壁構造の別の変型例を示す。図6（C）は、図6（A）と同様な図であるが、壁構造の更に別の変型例を示す。

【図7】図7は、本発明の他の実施形態の透視図である。

【図8】図8は、図7と同様な拡大透視図であるが、洗濯機器の正面ドアが開かれた状態にあるところを示す。

【図9】図9は、洗濯機器の頂部の透視図であるが、壁構造の変型例を示す。

【図10】図10は、洗濯機器の壁構造の更に別の変型例を示す部分透視図である。

【符号の説明】

- 10：洗濯機器
- 12：キャビネット
- 14、16：側壁
- 18：前壁
- 20：後壁
- 22：頂壁
- 26：傾斜表面
- 28：前面パネル
- 32：内部傾斜表面
- 34：キャビネットアクセス開口
- 36：水平下縁
- 38：垂直側縁
- 42：水平上縁
- 48：キャビネット凹底
- 50、52：垂直平面
- 54：ドア
- 56：垂直部分
- 58：後方傾斜部分
- 66：ドラム
- 68：水平軸線
- 70：円筒状の壁

(5)

特開平 8-117484

8

74: ドラムアクセス開口

76: 閉鎖後壁

78: 洗濯機器

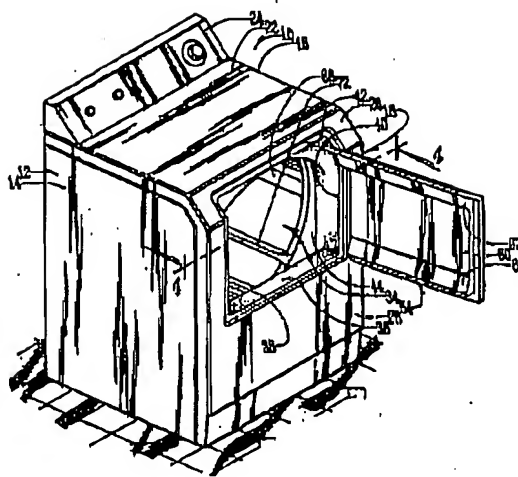
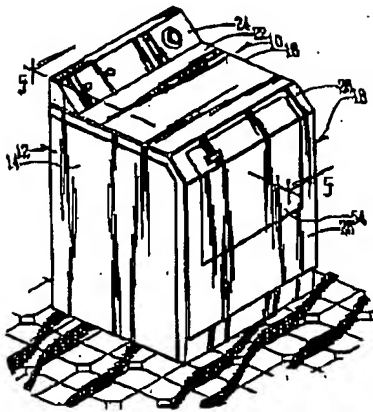
80: 前壁

82: 頂壁

84: ドア

【図1】

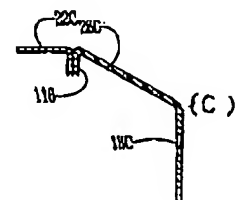
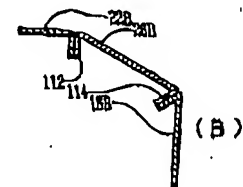
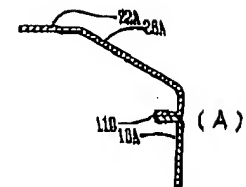
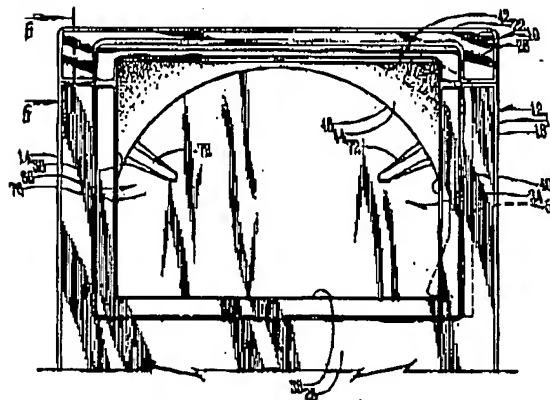
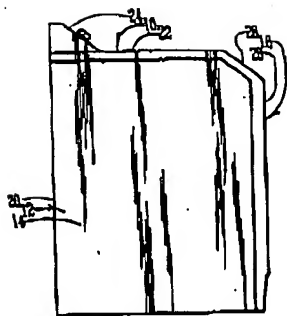
【図2】



【図3】

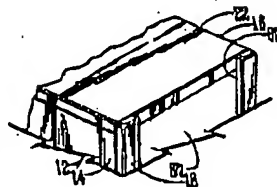
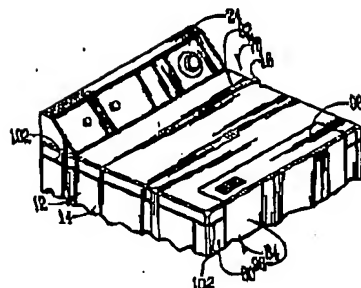
【図4】

【図6】



【図9】

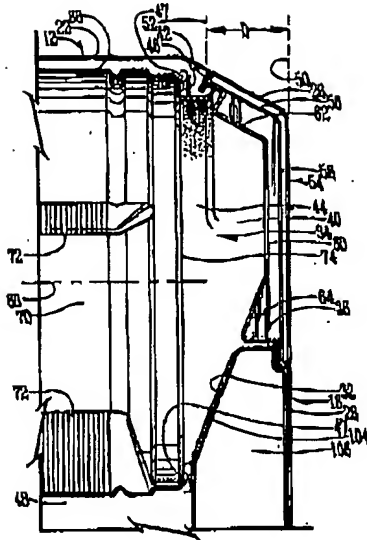
【図10】



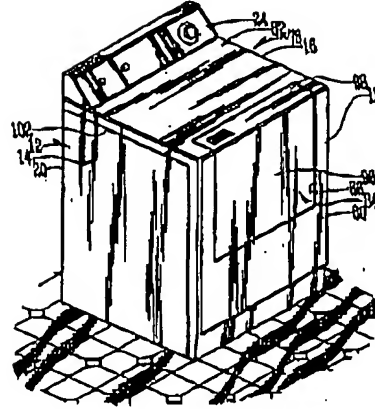
(6)

特開平8-117484

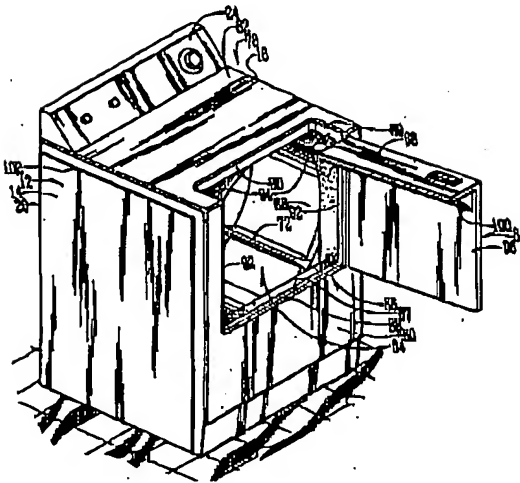
【図5】



【図7】



【図8】



2008年 6月20日 18時06分

S. YAMAMOTO OSAKA

NO. 6209 P. 4/41

**SHUSAKU YAMAMOTO**

Japanese Patent Application No. 2003-192499

Your Ref: OPP-AZ-2003-0021-JP-00/LWW

(Translation)

**NOTICE OF REASONS FOR REJECTION**

Patent Application No. 2003-192499

Examiner: Nozomu NAGAUMA

Date: June 4, 2008

Mailing Date: June 6, 2008

Applicable Sections: 29(2)

To: Shusaku Yamamoto, Patent Attorney and two others

The present application is rejected for the following reasons. Any argument must be submitted within 3 months from the mailing date of this document

**REASONS**

The following claims of the present application are rejected under Sec. 29(2) of the Japanese Patent Law as being obvious to those skilled in the art over the following cited references published or made available through electric telecommunication lines in Japan or in a foreign country prior to filing of the present application.

**NOTES (List of References)**

\*Claims: 1, 3, 7 and 36

\*Cited References: 1 and 2

2008年 6月20日 18時06分

S. YAMAMOTO OSAKA

NO. 6209 P. 5/41

**SHUSAKU YAMAMOTO****Japanese Patent Application No. 2003-192499****Your Ref: OPP-AZ-2003-0021-JP-00/LWW****\*Remarks:**

Each of cited References 1 and 2 describe subject matter same as the claimed invention.

**\*Claim: 2****\*Cited References: 1 and 2****\*Remarks:**

The matter specified in claim 2 is merely a matter appropriately obtained by those skilled in the art, considering the design ability and the like.

**\*Claims: 4-6, 27 and 28****\*Cited References: 1 and 2****\*Remarks:**

It is a well-known technique to use an adhesive with a sealing property to a bonding portion in which it is desired that an airtight property be maintained inside. Therefore, it would have been obvious to those skilled in the art to use a fixing agent which is a liquid sealant to a portion for fixing the window in the subject matters described in Cited References 1 and 2.

**\*Claims: 8-10 and 29-31****\*Cited References: 1 and 2****\*Remarks:**

It is merely a well-known technique to provide a gasket between a door frame and an opening of the cabinet. Moreover, the matters specified in claims 3, 10, 30 and 31 are matters of design choice appropriately selected by those skilled in the art.

**\*Claims: 11, 12, 32 and 33****\*Cited References: 1 and 2****\*Remarks:**



2008年 6月20日 18時06分

S. YAMAMOTO OSAKA

NO. 6209 P. 6/41

**SHUSAKU YAMAMOTO****Japanese Patent Application No. 2003-192499****Your Ref: OPP-AZ-2003-0021-JP-00/LWW**

The matters specified in claims 11, 12, 32 and 33 are matters of design choice appropriately selected by those skilled in the art.

**\*Claims: 13 and 34**

**\*Cited References: 1 and 2**

**\*Remarks:**

The matters specified in claims 13 and 34 are merely well-known techniques.

**\*Claims: 14-16, 23-26, 35 and 37**

**\*Cited References: 1 and 2**

**\*Remarks:**

For the feature of the door frame comprising an outer door frame and an inner door frame, and for the configuration of each door frame, see Cited References 1 and 2.

**\*Claims: 17-22**

**\*Cited References: 1-3**

**\*Remarks:**

For the feature of forming a slope angle to the door of the drum washing machine, see Cited Reference 3. The specific slope angle is merely a matter of design choice appropriately selected by those skilled in the art.

**List of Cited References**

1. International Publication WO 02/034994
2. German Patent Application Publication No. 19515040
3. Japanese Laid-Open Publication No. 8-117484

-----  
**Record of search for prior art documents**

2008年 6月20日 18時06分

S. YAMAMOTO OSAKA

NO. 6209 P. 7/41

**SHUSAKU YAMAMOTO**

Japanese Patent Application No. 2003-192499

Your Ref: OPP-AZ-2003-0021-JP-00/LWW

\*Classes searched

IPC D06F1/00-51/02

The documents cited in the above record of search for prior art documents do not form the basis of the reasons for rejection.

If you have any inquiries concerning this Notice of Reasons for Rejection or wish to have an interview with the Examiner, please contact us.

2008年 6月20日 18時06分

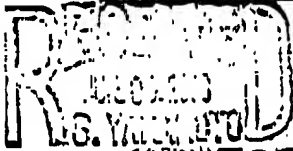
S. YAMAMOTO OSAKA

NO. 6209 P. 8/41

整理番号: P103997AHU 発送番号: 327897 発送日: 平成20年 6月 6日

Due Date

9/6 (Sat)



## 拒絶理由通知書

Official Action

特許出願の番号

特願2003-192499

起案日

平成20年 6月 4日

特許庁審査官

長馬 望

特許出願人代理人

山本 秀策 (外 2名) 様

適用条文

第29条第2項



この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出してください。

|    |    |      |   |   |   |
|----|----|------|---|---|---|
| 日  | 月  | 年    | 時 | 分 | 秒 |
| 21 | 06 | 2008 |   |   |   |

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1, 3, 7, 36
- ・引用文献等 1, 2
- ・備考

引用文献1及び引用文献2にはそれぞれ本願発明と同様の発明が記載されている。

- ・請求項 2
- ・引用文献等 1, 2
- ・備考

請求項2で特定される事項については、意匠性等の観点から、当業者が適宜なし得た事項にすぎない。

- ・請求項 4~6, 27, 28
- ・引用文献等 1, 2
- ・備考

内外の気圧を保持したい接合部にシーリング性のある接着剤を使用することは



2008年 6月20日 18時07分

S. YAMAMOTO OSAKA

NO. 6209

P. 9/41

整理番号:F103997AHU 発注番号:927897 発注日:平成20年 6月 6日 2

周知の技術である。してみれば、引用文献1及び引用文献2記載の発明においてウィンドウを固定する箇所に液相のシーラントである定着剤を用いることは当業者が容易になし得たことにすぎない。

- ・請求項 8～10, 29～31
- ・引用文献等 1, 2
- ・備考

ドアフレームとキャビネットの開口部との間にガスケットを設ける点は周知の技術にすぎない。また、請求項9, 10, 30, 31で特定される事項については当業者が適宜なし得た設計事項にすぎない。

- ・請求項 11, 12, 32, 33
- ・引用文献等 1, 2
- ・備考

請求項11, 12, 32, 33で特定される事項については、当業者が適宜なし得た設計事項にすぎない。

- ・請求項 13, 34
- ・引用文献等 1, 2
- ・備考

請求項13, 34で特定される事項については、周知の技術にすぎない。

- ・請求項 14～16, 23～26, 35, 37
- ・引用文献等 1, 2
- ・備考

ドアフレームがアウトードアフレームとインナードアフレームからなる点、及び、各ドアフレームの構成については、引用文献1及び引用文献2を参照されたい。

- ・請求項 17～22
- ・引用文献等 1～3
- ・備考

ドラム洗濯機のドアに傾斜角を形成する点については引用文献3を参照されたい。具体的な傾斜角度については、当業者が適宜なし得た設計事項にすぎない。

#### 引用文献等一覧

1. 国際公開第02/034994号
2. 独国特許出願公開第19515040号明細書
3. 特開平8-117484号公報

2008年 6月20日 18時07分

S. YAMAMOTO OSAKA

NO. 6209 P. 10/41

整理番号: F103997AHU 発送番号: 327897 発送日: 平成20年 6月 6日 3/E-----  
先行技術文献調査結果の記録

## ・調査した分野

I P C D06F1/00-51/02

この先行技術文献調査結果の記録は拒絶理由を構成するものではありません。

-----  
この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第二部 生活機器 審査官補 五十嵐康弘

TEL. 03(3581)1101 内線 3382

FAX. 03(3501)0672